

and PUBLIC



桑原 憂貴 代表取締役CEO

大学時代にマイクロファイナンスを研究。ビジネスを通じた社会課題解決に関心を強める。リクルートHRマーケティング（現：リクルート）を経てコンサルティング会社で経済産業省等とソーシャルビジネスの普及促進事業に取り組んだのち、東日本大震災をきっかけに陸前高田市で起業。住民とともに集会所のコミュニティビルドに取り組み、優れたアイデアを世界に広める「TEDx」で「DIT（do it together）」を提唱。2018年に財団を設立し、ともに空間をつくる参加型リノベーション「DITワークショップ」を全国展開したのち、2022年事業譲渡。2023年に&PUBLICを共同創業。



長友 まさ美 代表取締役CHRO

人やチーム、地域の可能性を最大限に引き出し、共創を生み、社会問題の解決を行うことに関心を持ち、システムコーチングやファシリテーションの知識と技術を主な手法に人と組織の課題解決に取り組む。社会的インパクトをうみだす設計図「ロジックモデル」づくりをきっかけに、「社会とのつながりを取り戻す個人」をふやす対話のワークショップを全国各地で取り組む。高度な理論や緻密な計画だけで未来を創るのではなく、一人一人の内なる熱が未来を惹き寄せるとの思いから、つくられたインパクト戦略に命を吹き込むファシリテーションを実践。

「社会的インパクト」をざっくり掴んで活用の一步をふみだす

私たちがめざすことと
取り組みの紹介



10 min

社会的インパクトの
全体像を俯瞰して共有



45 min

インパクトの設計図
づくりの体感ワーク



60 min

民間事業や行政施策の「社会的インパクト」の可視化

対面やオンラインを活用した「コンサルティング」や「ワークショップ」



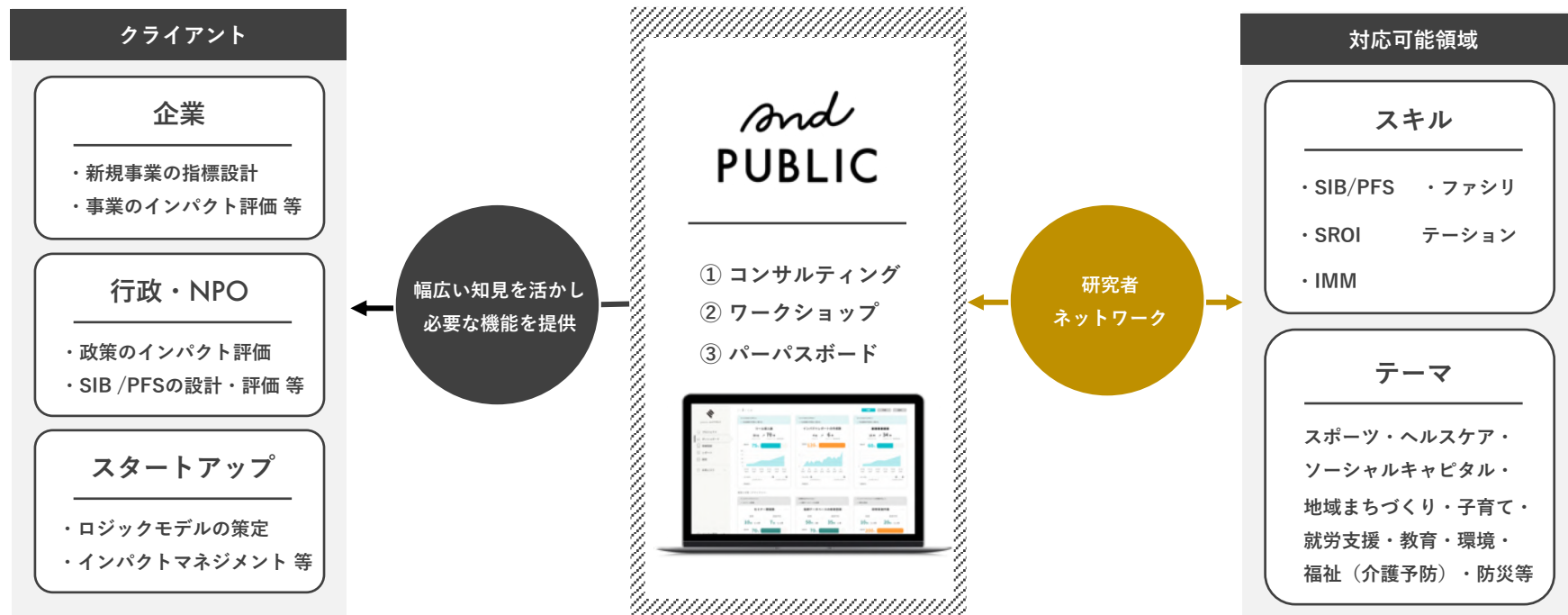
インパクト測定マネジメント（IMM）の専門家や多様な非財務指標の知見をもった研究者ネットワークを活かした「コンサルティング」や対話を通じた「社会的インパクトの「可視化ワークショップ」」を企画実施。

インパクトマネジメントツール「パーパスボード」（開発中）



- ・ 多様な社会課題テーマに対する「ロジックモデル」のデータベース機能
- ・ 施策の成果（アウトカム）と打ち手（アウトプット）、指標の設計機能
- ・ 成果を可視化するダッシュボードや報告書になるレポート機能

研究者との連携により多様なテーマでのインパクト指標を収集





鴨崎 貴泰（かもざき よしひろ）

グロービス経営大学院卒業（MBA）。環境コンサルティング会社を経て、2009年公益財団法人信頼資本財団に設立時より参画し、社会起業家に対する無利子・無担保融資事業やNPOのファンドレイジング支援事業を行う。2014年NPO法人日本ファンドレイジング協会へ入職。2020年4月から事務局長兼任を解き常務理事専任となり、現在に至る。SROI評価やSIB(Social Impact Bond)の日本導入などに携わる。



土岐 三輪（とき みわ）

大学にて環境問題を専攻。ITコンサルタント、環境・CSRコンサルタントを経て、東日本大震災を機にNPOに転職。東北支援の経済復興事業に従事。その後、3年間、海外NGOにてバングラデシュの農村における女性の収入創出事業に携わる。帰国後は熊本震災復興支援、社会的インパクト投資NPOを経て、2017年6月よりSVP東京の事業統括に就任。社会的インパクト評価イニシアチブの発足当初より参加し、人材育成および資金提供者ワーキンググループメンバーとして関わる。グロービス経営大学院卒業（MBA）／一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ 共同代表



千葉 直紀（ちば なおき）

プログラム評価、発展的評価、社会的インパクト・マネジメント、組織診断等を通じた社会的事業の開発・改善、組織のマネジメント支援を専門とし、NPO/NGO、民間企業、行政の評価・マネジメント支援や人材育成、同分野に関する国内外の調査を広く行っている。社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ事務局、日本民間公益活動連携機構（JANPIA）評価アドバイザー、GSG-IMM（インパクト測定・マネジメント）ワーキンググループ・メンバー、アメリカ評価学会メンバー、CSOネットワーク 評価事業コーディネーター。中小企業診断士（経済産業大臣登録）、認定ファンドレイザー（日本ファンドレイジング協会）。



水谷 衣里（みずたに えり）

大学院卒業後、大手シンクタンク（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）にて、政策立案やコンサルティングに従事。同社では、民間公益活動の基盤強化に関する調査研究や、企業の社会貢献活動、CSR/CSVの実現に向けたコンサルティングに従事。専門分野は、ソーシャルファイナンス・社会的インパクト投資・コミュニティ投資といったソーシャルセクターの資金還流や、ソーシャルアントレプレナー（社会起業家）等の育成支援、ソーシャルビジネスの経営支援等。内閣府社会的インパクト評価ワーキンググループ 委員 他。

「社会的インパクト」をざっくり掴んで活用の一步をふみだす

私たちがめざすことと
取り組みの紹介



10 min

社会的インパクトの
全体像を俯瞰して共有



45 min

インパクトの設計図
づくりの体感ワーク



60 min

短期・長期の変化を含め当該事業や活動の 結果として生じた社会的、環境的な成果のこと*

1

長期的な結果のみではなく、短期でも変化は生じる

2

大規模な取り組みによるものだけでなく、小規模のものや一人の心理的变化なども含む

3

数値化（定量化）されたものだけでなく、定性情報でも表すことができる

4

ポジティブな変化だけでなく、ネガティブな変化も含む

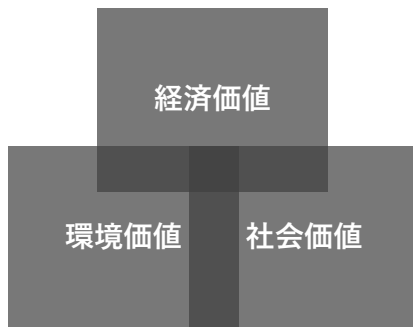
外部不経済*を無視した短期的利益の確保が許されない状況に

第一世代（1980年代頃まで）



経済が利益を生みだし、利益を環境や社会に還元する「CSR」活動の考え方

第二世代（1990～2010年代頃まで）



一部だけ経済と環境・社会が重なると認識。
コストをかけてでも対応すべきという考え方。

第三世代（現代社会）



経済活動は環境・社会を前提にし、環境や社会価値が損なわれると経済価値も損なわれるという考え方

背景にある認識＝「経済活動の環境・社会への負荷が自然の自浄作業で修復できている」

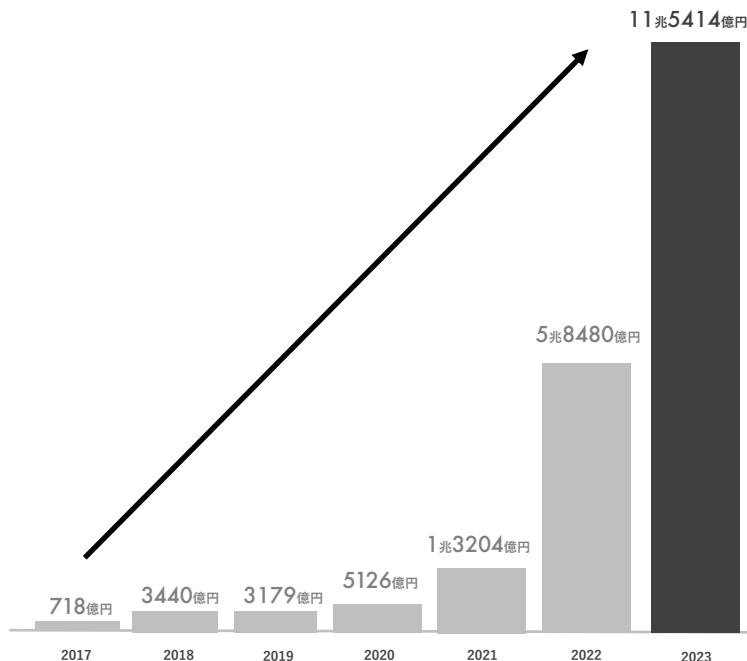
「自浄作用の範囲をはるかに超えている」

「環境」や「社会」が傷つけば、経済活動自身が成り立たないため、事業活動全体を環境・社会を両立させる必要がある。

インパクトを重視する投資やその評価を必要とする市場の拡大

世界の潮流とともに急成長する「国内インパクト投資市場」

行政における検討や法整備に関する動きの加速



2016 内閣府「社会的インパクト評価に関する調査研究」

2017 内閣府「社会的インパクト評価の普及促進に係る調査」

2018 内閣府「社会的インパクト評価ツールに関する先行事例調査」

2019 休眠預金等活用法の施行。活用時に重視される「社会インパクト評価」

重視すること

財源（休眠預金）の特性（国民の資産）から以下の3点が重視されています。

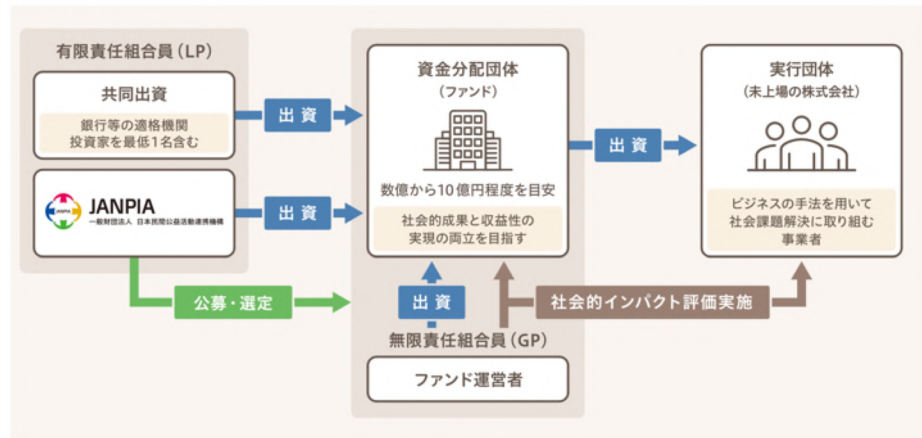
- 国民、ステークホルダー（多様な関係者）への事業の透明性や説明責任
- 事業の成果の可視化→社会インパクト評価の実施
- 民間公益活動を行う組織の能力強化を目的とした伴走支援（プログラム・オフィサーの確保と育成など）

2020 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ設立
事業者・資金提供者・行政・中間支援組織・シンクタンク・評価者・研究者が160団体以上連携。日本全体で「社会的インパクト・マネジメント」を普及させるマルチセクター・イニシアチブ。

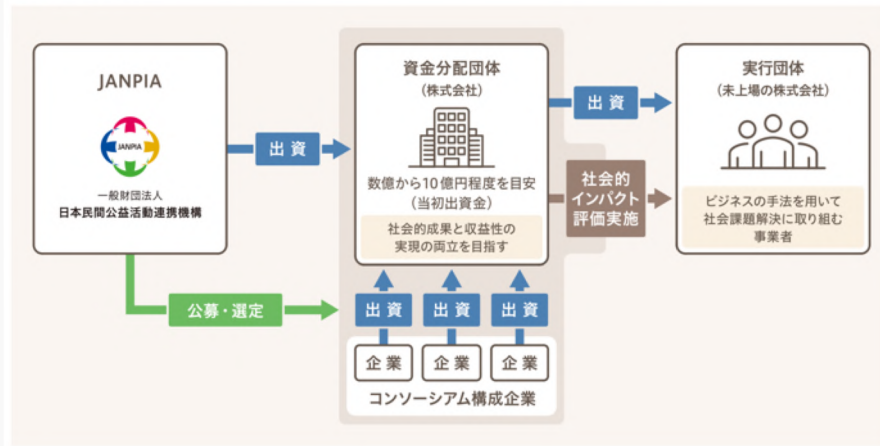
SIMI 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ
Social Impact Management Initiative

休眠預金は毎年700億円発生。改正休眠預金活用法で出資解禁

■ ファンド出資型



■ 法人出資型



改正休眠預金活用法の 主なポイント

- ① 休眠預金をファンドなどに出資し、社会課題の解決をめざす新興企業へ出資できるようにする
- ② 休眠預金を財源に、人材面や情報面でNPOなどを支援する「活動支援団体」を創設
- ③ 法律の目的に民間の公益活動（ソーシャルセクター）の担い手の育成を明記
- ④ 日本語教育など国内の外国人支援などに活用可能であることを明確化

「金融庁・経済産業省」が牽引。インパクトコンソーシアム



「インパクトスタートアップ」や関連イベントが拡大



Impact
Startup
Association

インパクトスタートアップ協会の
正会員数が**206社**へ
第5期正会員71社が新たに加盟し
規模がさらに成長

インパクト・エコノミーの
地殻変動

未来への扉が開く3日間
社会的インパクトに関する年次カンファレンス
Social Impact Day 2025
5.14 WED → 5.16 FRI
主催：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

IMPACT SHIFT 2025
インパクトの入口をつくる学園祭

2025.3.1(土)~2(日)
Tokyo Convention Hall
& Kyobashi AREA

社会課題と向き合う
わたしたちのこれから

IMPACT
STARTUP
SUMMIT
2024

インパクト最前線、
新しい未来。

20240911
Tokyo Innovation Base
Impact
Startup
Association

Social Impact Conference
BEYOND 2024

インパクトを再考する
Impact

2024.10.19-20
京都リサーチパーク

社会的インパクトを描く前におさえておきたいこと

「社会的インパクト・マネジメント」という考え方

「社会的インパクト・マネジメント」とは、事業や取り組みがもたらす変化や価値に関する情報を各種の意思決定や改善に継続的に活用することにより社会的インパクトの向上を目指す体系的な活動のこと。

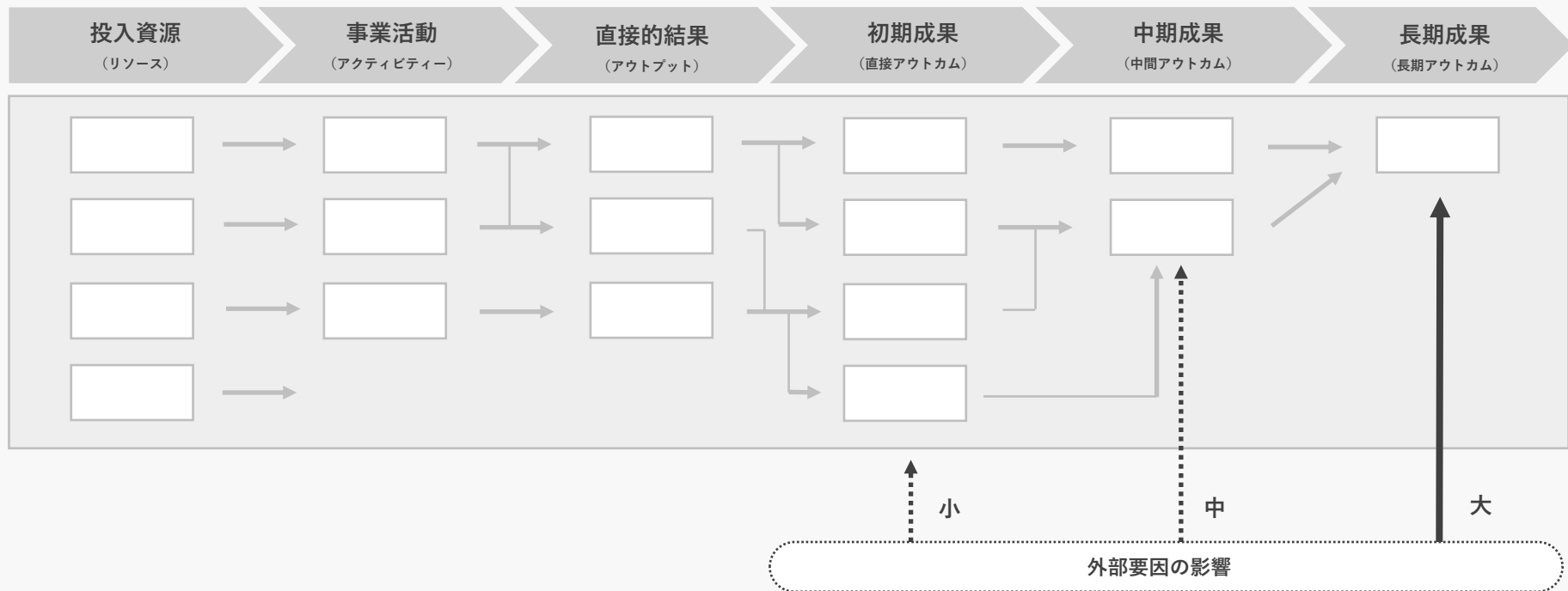
ー 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアティブ（SIMI）「社会的インパクトマネジメント・ガイドライン」より



社会的インパクトの設計図「ロジックモデル」

自分たちでコントロールできる「行為」

結果として生まれるコントロールできない「状態」



耕作放棄地で米作りを行う「ロジックモデル」の例

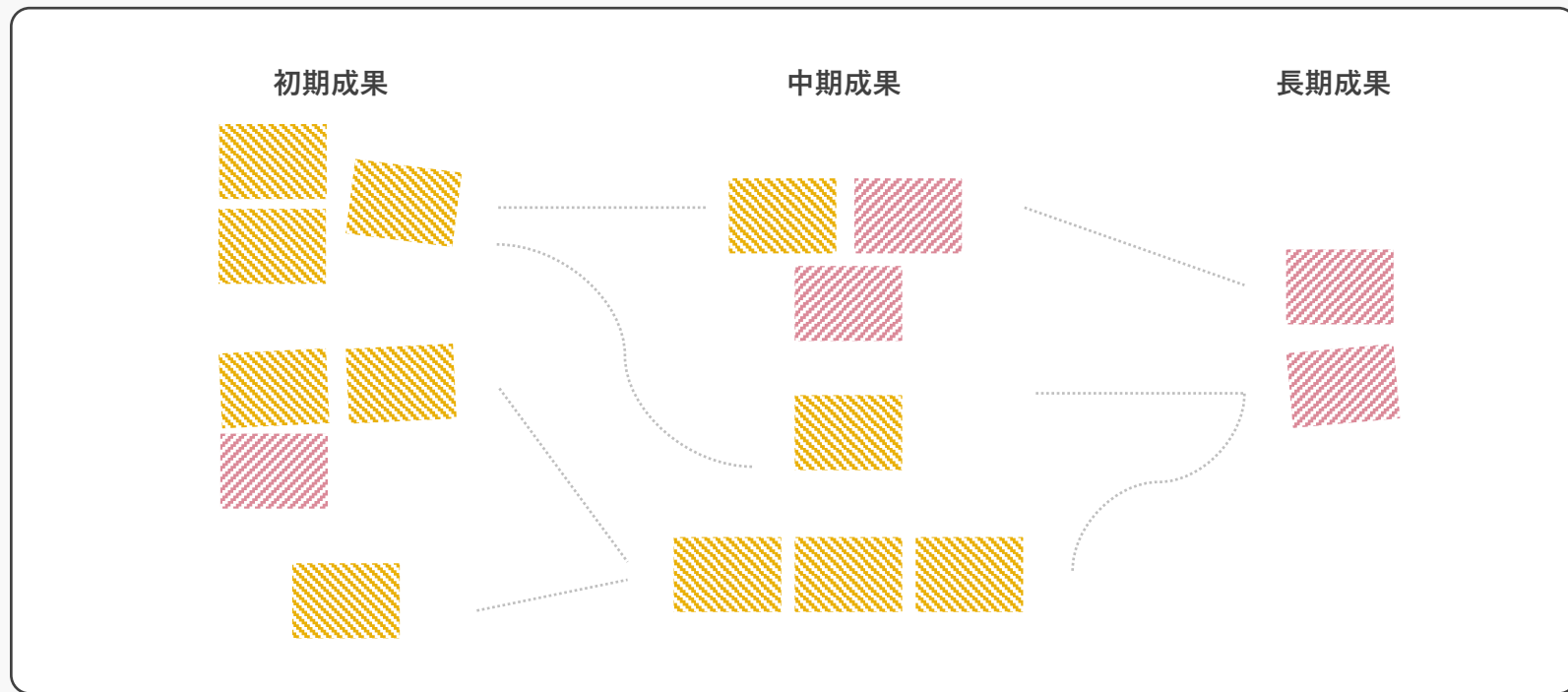


社会的インパクトの描き方

誰が／何が
どうなっている

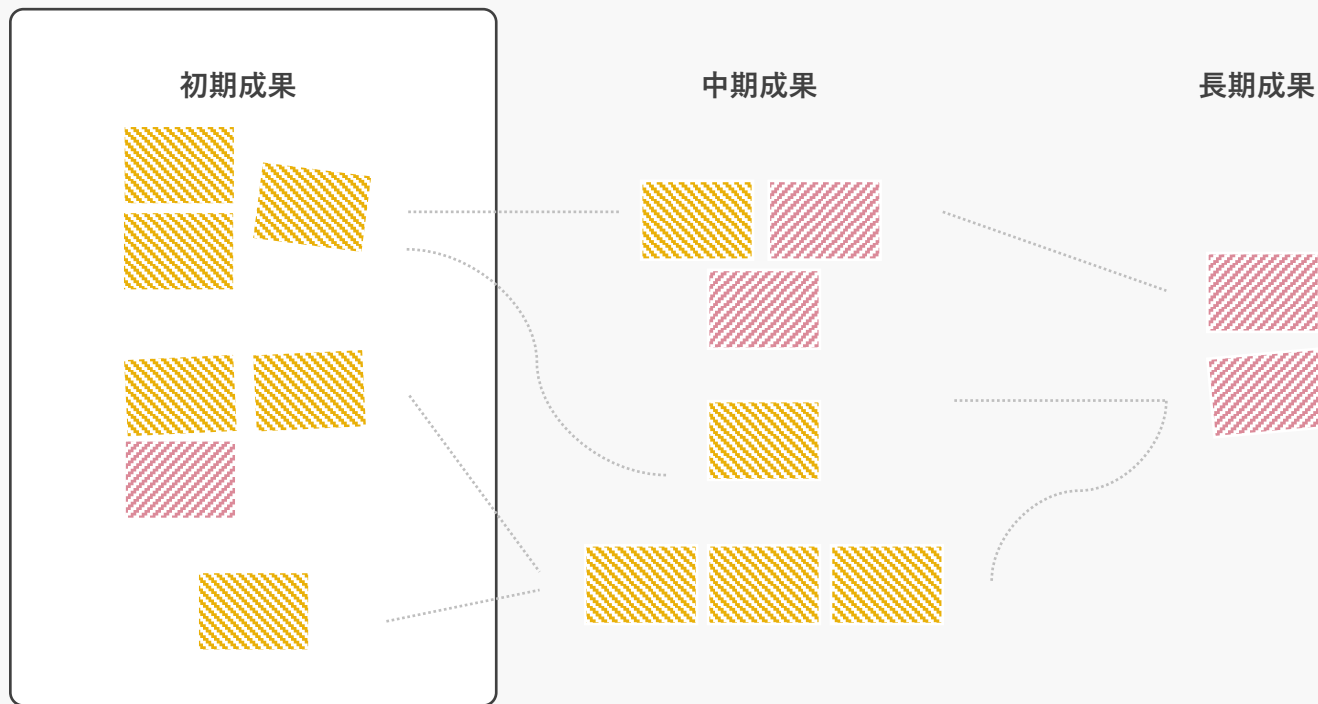
私たち（組織として）が作りきたい幸せな
光景は、誰が／何が・どうなっているのか

つながりに注目しながら「初期・中期・長期」に分ける



似た内容の書かれた付箋は、互いの近くに貼る。この段階での「新規追加」もOK

「初期成果」に焦点をあて、打ち手を考える



意図 | 初期成果は活動の結果が反映されやすいため、その変化の創出に集中する

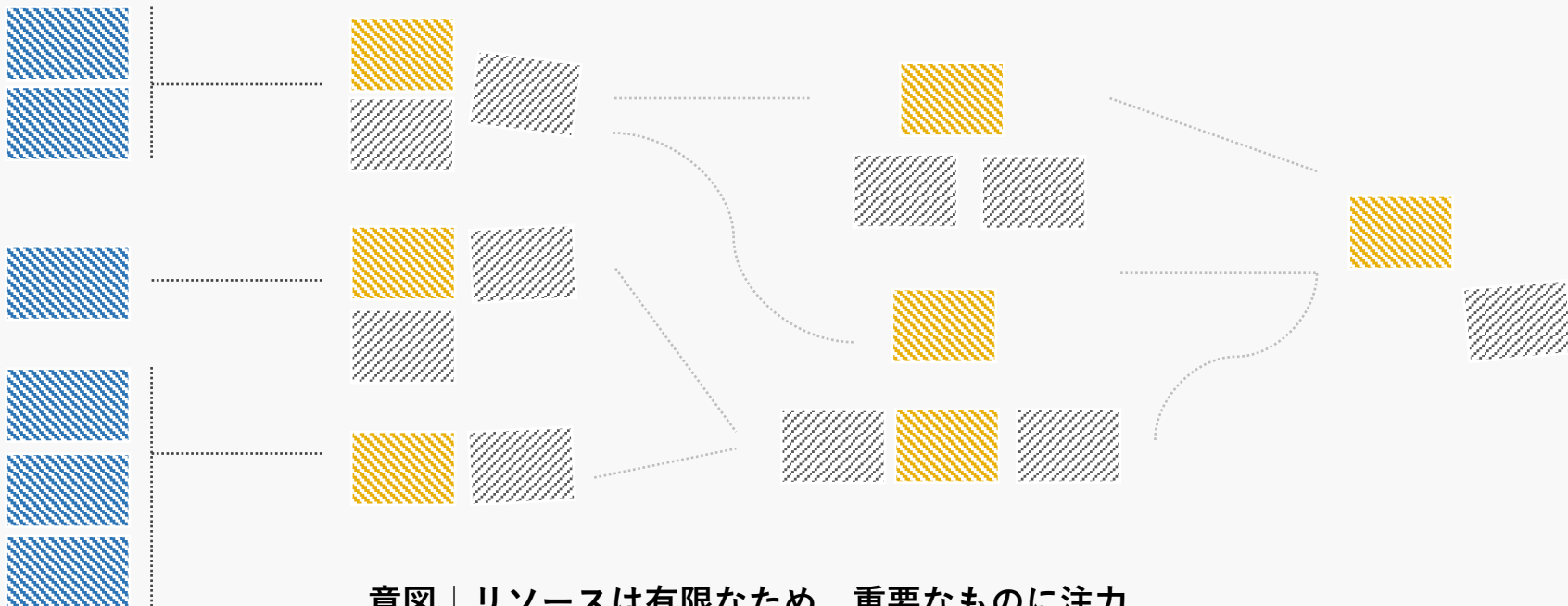
全体を俯瞰。つながりを意識する

アクティビティ/アウトプット

初期アウトカム

中期アウトカム

長期アウトカム



意図 | リソースは有限なため、重要なものに注力

「インパクト」の測り方

指標は「活用目的」にあわせて設定することが必要

汎用指標

外部評価のための指標
みんなが納得しやすいもの

OR・&

独自指標

内部評価のための指標
自分たちのこだわりのもの

定量と定性は表現できる情報や伝わり方が変わる

定量

状況を比較する
比べることで伝わる

OR・&

定性

状況を描写する
物語等で伝わる

指標設計はデータの現実的な収集方法にも影響される

業務データ・アンケート調査・行動観察
・インタビュー・動画記録 など

●IRIS+

GIIN(グローバル・インパクト投資ネットワーク)が開発した IRIS(アイリス)を応用したマネジメント・ツール。2008 年から開発・運用。その目的は、事業者と投資家との共通言語の確立、透明性・信頼性・比較可能性の向上。最新版の IRIS 5.0 では 594 個の指標が用意され、指標カタログと呼ばれている。IRIS+は、この IRIS を発展させたもの。



≡ HOW MUCH change is happening?

SCALE

How many target stakeholders experience the outcome?

KEY INDICATORS

📊 Number of children developmentally on track

Why is This Important?

To understand the number of children experiencing the outcome in relationship to the total number of children reached by the organization.

IRIS DATA NEEDED

- ★ Client Individuals: Total (PI4060)
- ★ Developmental Status (PI0045)

FORMULA / CALCULATION GUIDANCE

Calculate the number of children aged 0-6 who are developmentally on track using the following steps:

1. Calculate the total number of children who are developmentally on track for their age during the reporting period using Client Individuals: Total (PI4060) disaggregated by Developmental Status (PI0045).
2. (Optional): Calculate the percent of children who are developmentally on track:
(Children who are developmentally on track, calculated above) / (Client Individuals: Total (PI4060))



●地域幸福度（Well-Being）指標

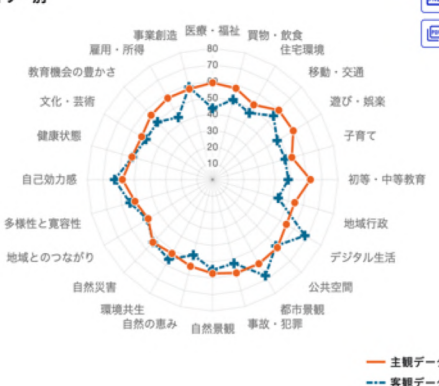
客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を指標で数値化・可視化した指標。市民一人ひとりが、デジタル化・スマート化は自分にとってどういう意味があるかを理解するためにも、デジタル化・スマート化に伴う心豊かな暮らしの変化を可視化することを目指している。

地域幸福度 Well-Being 指標

RAIDA ☐ RESAS ☐
ダッシュボード 指標について知る 使いこなす 個別調査をする

ログイン

カテゴリー別



カテゴリー別

因子	主観	客観
医療・福祉	59.0	43.4
買物・飲食	57.6	50.5
住宅環境	52.6	46.9
移動・交通	59.8	55.0
遊び・娯楽	59.5	47.6
子育て	52.4	48.0
初等・中等教育	62.5	48.3
地域行政	54.3	43.4
デジタル生活	54.4	68.1
公共空間	58.5	57.1
都市景観	59.1	67.5
事故・犯罪	58.8	52.8
自然景観	57.1	54.9
自然の恵み	54.6	47.5
環境共生	51.9	56.0

主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問

- 地域における幸福度・生活満足度 (4)
- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
 - 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
 - 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
 - 自分だけでなく、身近な周りの人々も楽しい気持ちでいると思う

生活環境 (16)

医療・福祉 (2)

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食 (2)

- 日用品の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境 (3)

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 近所（自宅の近辺）では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通 (1)

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽 (1)

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て (2)

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育 (2)

- 教育環境（小中学校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政 (2)

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

デジタル生活 (2)

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間 (2)

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観 (1)

- 自慢できる都市景観がある

自然景観 (1)

- 自慢できる自然景観がある（自然）
- 身近に自然を感じることができる

環境共生 (1)

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取り組みが盛んである

自然災害 (1)

- 暮らししている地域では、防災対策がしっかりしている。

事故・犯罪 (2)

- 防犯対策（交通・街灯・防犯カメラ・住居の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されている安心である

地域の人間関係 (2)

地域とのつながり (5)

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人々が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

多様性と寛容性 (5)

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方 (6)

自己効力感 (1)

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

健康状態 (2)

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

文化・芸術 (2)

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 町で生まれ育つ世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

教育機会の豊かさ (1)

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得 (2)

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある（過干渉・不寛容）

事業創造 (1)

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

●SIMI（一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ）アウトカム指標データベース

（一財）社会変革推進財団（SIIF）からの支援によって作成された指標のデータベース。一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブの責任のもとに管理。

ID	分野	ステークホルダー	アウトカムカテゴリー	詳細アウトカム	指標
01.01.	教育	子ども	学力の向上	基礎的知識・技能の向上	教科の知識・技能を問うペーパーテストの点数
○ 測定方法を見る					
01.02.	教育	子ども	学力の向上	思考力・判断力・表現力の向上	教科の知識・技能の活用を問うペーパーテストの点数
○ 測定方法を見る					
01.03.	教育	子ども	学力の向上	学習意欲の向上	学習に対する関心・意欲の程度
○ 測定方法を見る					
01.04.	教育	子ども	学力の向上	学習意欲の向上	学習意欲に関する心理尺度の点数

指標の測定方法を決めるときポイント

※データベースから測定方法を選定する場合

- （参照先調査票の質問文をよく読んだ上で）評価したいアウトカムの測定に適しているか。
- 参照先調査票の質問事項は、多すぎないか。
- 参照先調査票は、今回調査をしたいグループと同じ属性（性別・年齢等）のグループで検証されたものか。
- 質問文の表現は適切か。

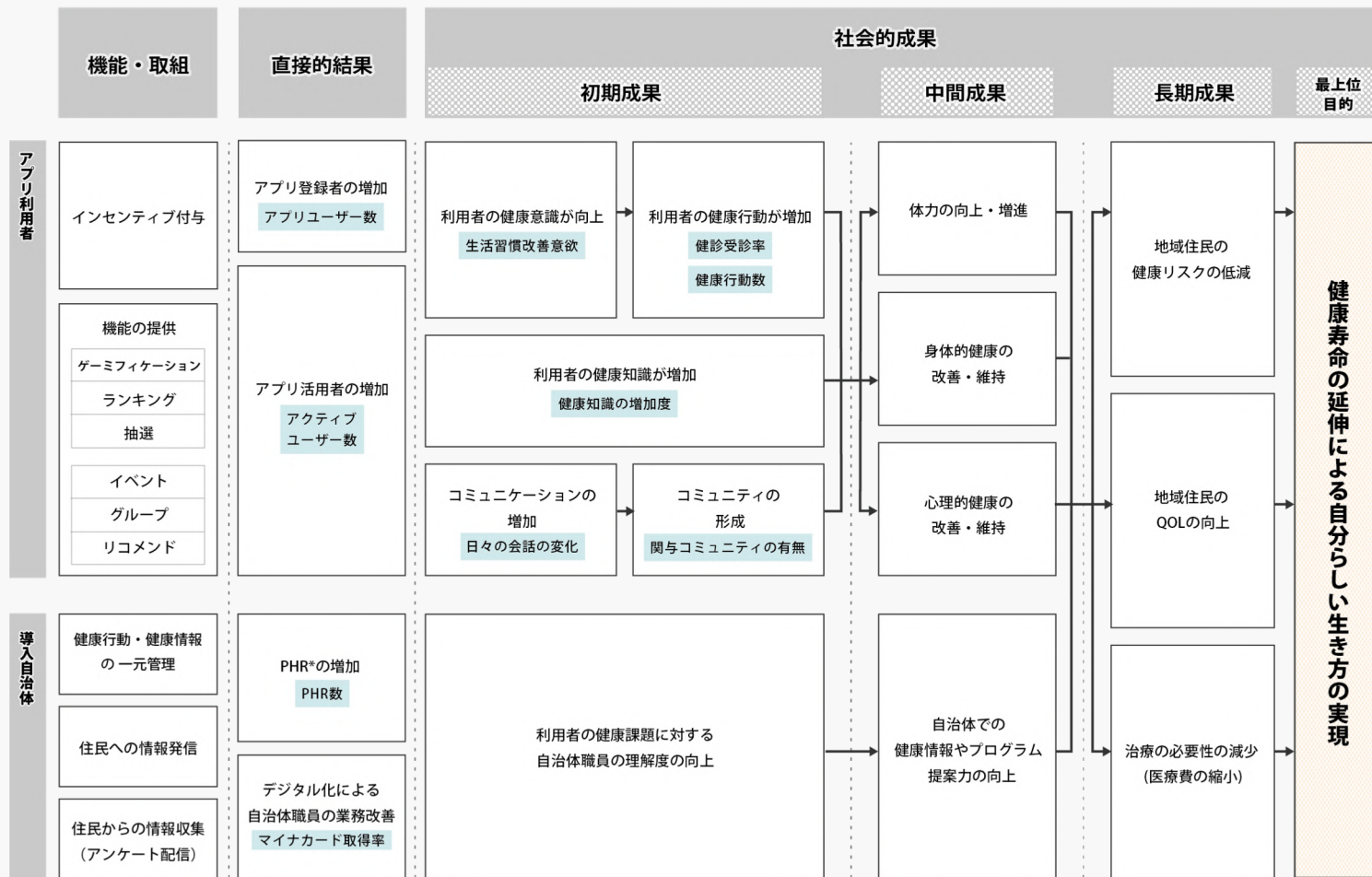
出所：Inspiring Impact（2014）"The JET Pack：A guide to measuring and improving your impact based on the Journey to Employment（JET）Framework"

分野で絞り込む

- ☐ すべて
 ☐ スポーツ
 ☐ ソーシャルキャピタル
 ☐ ヘルスケア
 ☐ ホームレス支援
 ☐ 地域まちづくり
 ☐ 子育て支援
 ☐ 就労支援
 ☐ 教育
 ☐ 文化芸術
 ☐ 環境教育
 ☐ 福祉（介護予防）
 ☐ 防災

ステークホルダーで絞り込む

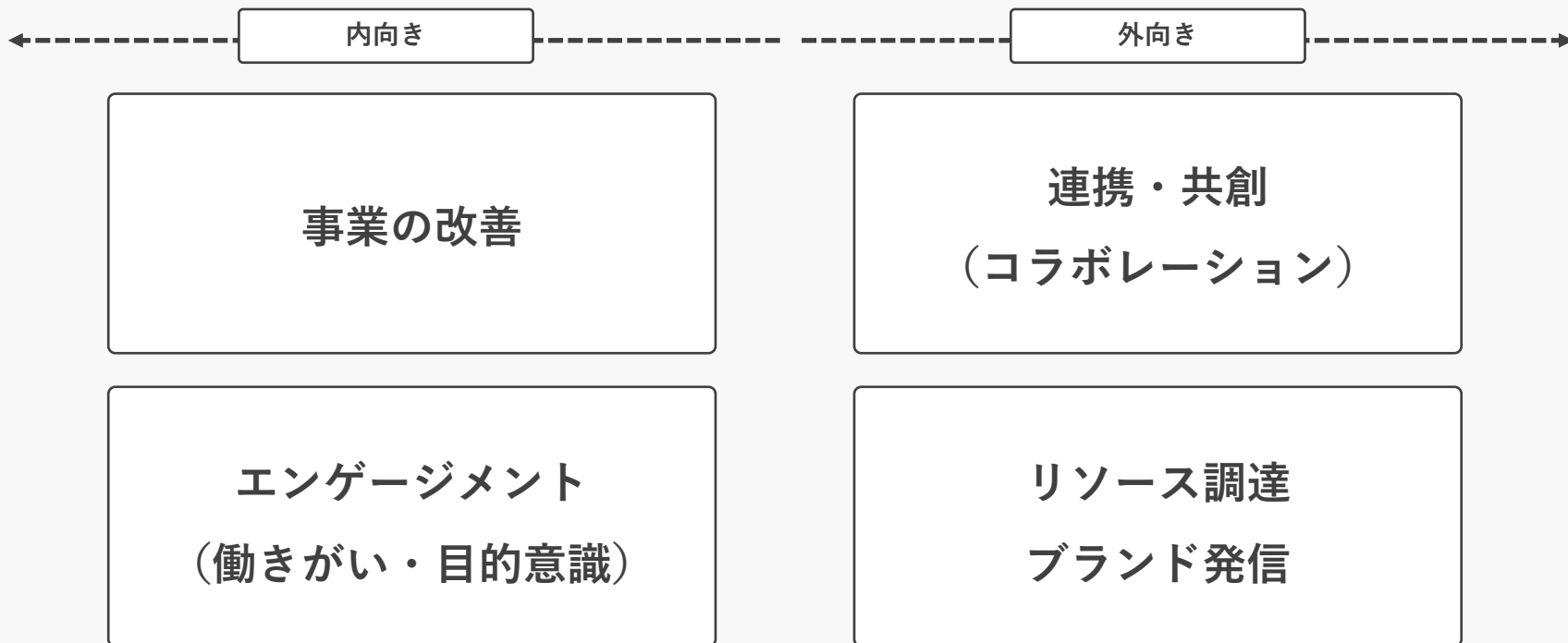
- ☐ すべて
 ☐ イベントボランティア
 ☐ 子ども
 ☐ スポンサー
 ☐ プログラム参加者
 ☐ ホームレス（元ホームレスを含む）
 ☐ 参加者周辺
 ☐ 地域・地域住民
 ☐ 家族
 ☐ 寄付先
 ☐ 行政
 ☐ 親
 ☐ 高齢者



健康サポートアプリ



社会的インパクトは「事業を前に進める力」を高める



評価

evaluation



ex + value

引き出す

価値

長期成果

中期成果

初期成果



まちに活気が感じられる

町を歩く人の数

- ・子どもやシニアが町を歩いている
- ・町を歩いている人がたくさんいる
- ・寄り道できる場所が増えている
- ・家族で散歩をしている
- ・美観でいくデートスポットが増えている



利便性の向上

暮らしに必要な機能の充実度

- ・銀行が増えている
- ・バスなどの交通手段が充実している
- ・リモートで創造的に働ける場所がある
- ・医療が充実している



チャレンジが増加している

空き店舗の減少数

- ・空き家や空き店舗が減少している
- ・働く場所が増えている
- ・女性が活躍している
- ・新しいチャンスが増えている
- ・シャッター通りが光がさしている



「人交密度」が増加している

交流機会の増加数

- ・人と人がつながりあっている
- ・交流が増えている
- ・世代間の交流がなされている
- ・女性が集まるまちになっている
- ・老人が集まれるコミュニティがある
- ・子どもの声が聞こえるまちになっている



楽しみの拡大

まちの楽しさ度

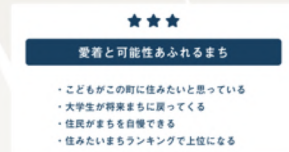
- ・行きたいと思える場所がたくさんある
- ・1人でも楽しいと思える場所が増えている
- ・国際交流ができる
- ・エンタメのまちになっている



伝統文化の継承

地域行事の数

- ・祭りなど地域行事の保護者がある



★★★★

愛着と可能性あふれるまち

- ・こどもがこの町に住みたいと思っている
- ・大学生が将来まちに戻ってくる
- ・住民がまちを自慢できる
- ・住みたいまちランキングで上位になる



自然・風土・景観の保全

自然・風土・景観の保全度

- ・美しい坂と綺麗な川が残されている
- ・海や自然と潮風の音が感じられる
- ・日本遺産が保全されている
- ・歩道が美しく、写真映える

→ やること

- ✓ まちづくり体験WS開催

- ✓ 1階での飲食店運営

- ✓ 空き家ツアーの開催

- ✓ 2階での子育て系サービスの運営

- ✓ 2階での会議スペースの運営

官民連携事業

生駒市シティプロモーション施策

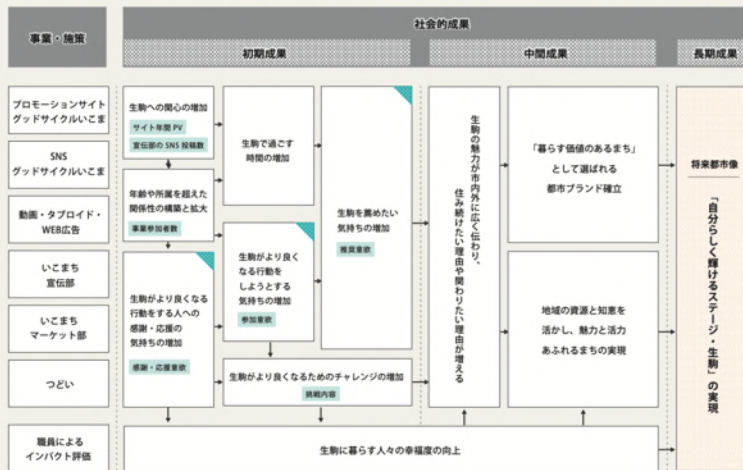
| 所在地 奈良県生駒市美新町8-38 | メールアドレス kouhouka@city.ikoma.lg.jp | 担当者 市長公室広報広聴課

めざしていること

●シティプロモーションは、単なる宣伝活動ではありません。「まちが持続的に発展・成熟していく基盤をつくること」だと考えています。想定外のスピードで進む少子高齢化や都心回帰のなか、これまで通り宅地を開発し、交通アクセスや自然環境の良で、行政サービスのPRによる転入促進するだけでは不十分です。暮らしやすい制度や仕組みが整っていることは必要ですが、それだけで人は「生駒で暮らしたくない」「生駒で暮らしたい」とは思えません。だからこそ、「まちのファンづくり」を合言葉に人々の関係性をデザインし、主体的に地域に関わろうとする意欲を高めることに取り組んでいます。●地域をつくるのは、生駒で暮らす市民の皆さんです。愛をもってまちを語る人が増えれば、多様な地域の良さが彩りをもって表出し、豊かな都市イメージの形成につながります。まちに思い入れのある人が増えれば、地域資源を活かした生駒ならではの活動や拠点が生まれます。これらを通して繰り返し生駒の魅力にふれてもらうことで深い共感につなげ、市内の人・モノ・情報といった資源を地域で活用できる良い循環をつくることを目指しています。●事業参加者向けのアンケートでは「シティプロモーション事業がきっかけで生駒で暮らす幸せが高まった」という回答も多く寄せられました。地域と関わることは幸せであることを一人でも多くの人に実感してもらえらる機会を創出していきたいです。

価値創造モデル（社会価値をうみだす設計図）

特に重要な成果 成果を測る指標



行政施策

専門家よりコメント 合同会社公共コミュニケーション研究所代表／東海大学教授 河井孝仁

シティプロモーションにより、生駒市に関わる人々の持続的な幸せを創るには、「生駒市をお奨めする意欲」「生駒市をより良くするために活動する意欲」「活動を応援し、感謝する意欲」を高めることが必要です。意欲を行動に結びつけば、生駒市への推奨が増え、生駒市の魅力は市内外に発信されます。生駒市をより良くする活動が増え、行政だけに頼らない素敵なまちを創れます。活動への応援、感謝が増え、活動は積極的になります。3つの意欲の向上は「自分は意味のある存在だ」との思いを生み、それは持続的な幸せにつながっていきます。



取組内容

シビックプライドを醸成「いこまち宣伝部」

生駒の魅力を発掘し、市公式 SNS で発信する市民 PR チーム。部員は取材先の選定から撮影・記事作成までを担当し、それぞれの視点で多様な魅力を届けています。プロのカメラマンやライターによる撮影や取材方法といった基礎的な講座を受講したあとは、月に1回投稿することだけが決まった1年間限定の活動。2015年の立ち上げから9年間で100人以上が参加し、「このまちが好き」につながるストーリーが止まることなく紡がれています。取材を通じて応援したい人やまちへの愛着が増えていき、活動後も様々な形でまちと主体的に関わり続ける人が多いことが特徴です。2022年グッドデザイン賞受賞。



少し先の生駒をみせる「good cycle ikoma」

生駒市公式プロモーションサイト。行政施策やアクセスの良さといった機能的な情報だけでなく、地域とのつながりを大切にしながらの暮らしをデザインしようとする人たちの姿を通して、生駒に深く触れられるメディアです。平成31年、「ベッドタウンから脱却し、豊かなつながりの中で多様な暮らし方が叶うまちへ進んでいく」という方向性を表明した第6次総合計画策定と同時に開設しました。ひと足早くまちのビジョンを体現する方々の価値に共感するコミュニティを通して、まちづくりの転換期にある生駒への理解と共感を、同円状に広げることが目的に運営しています。



主な成果



※意欲は、ブランド力を計測する指標である「ネット・プロモーター・スコア（NPS）」を参考に定量化した。10点から0点までで意欲の強さを尋ね、10-8を推奨者、5-0を批判者とし、推奨者の割合から批判者の割合を引くことで得られる数値によって導いた。◎令和6年からは「参加意欲」「感謝・応援意欲」についても目標数値を設定し、同様に計画予定。

メッセージ 広報広聴課

私たちの取組は、広告演出や動画作成、転入促進のための相談会やツアー開催といった取組と比較すると一見遠回りに見えるかもしれません。しかし、「行政が行政サービスなどの機能性をいかに発信するか」を考えるよりも、生駒で暮らす人の「地域に関わりたい」という意欲を高めるほうが広がりがあり、地域の力を高めます。10年間一貫した取組を通して、地域の担い手は確実に増え、新しい魅力が生まれ続けています。それぞれの一歩が日常を豊かにし、次世代により良い生駒をつなげます。ぜひまちに関わってみてください。



「社会的インパクト」をざっくり掴んで活用の一步をふみだす

私たちがめざすことと
取り組みの紹介



10 min

社会的インパクトの
全体像を俯瞰して共有



45 min

インパクトの設計図
づくりの体感ワーク



60 min

「社会的インパクト・マネジメント」という考え方

「社会的インパクト・マネジメント」とは、事業や取り組みがもたらす変化や価値に関する情報を各種の意思決定や改善に継続的に活用することにより社会的インパクトの向上を目指す体系的な活動のこと。

ー 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアティブ（SIMI）「社会的インパクトマネジメント・ガイドライン」より

4 活用

組織の内・外に対して得られた知見を報告・共有し活かす

費用対便益評価

1 設計

因果関係を考慮し、めざす成果と打ち手の仮説を設計

ロジックモデル

セオリーオブチェンジ

3 改善

得られたデータをもとに価値判断を加え、取り組みを改善

総合的評価

あつらえた評価

参加型評価

2 測定

成果指標、測定手法、測定タイミングなどを策定して実行

アンケート

インタビュー

行動観察

お題：宮崎県の経済活性化

考えるヒント

「山頂から見える景色」と「辿るルート」を考える



描き方（例）

〇〇の実現
〇〇の社会
〇〇の世界

私たちは「最終的」 or 「長期的」に、
どんな状態を実現できたら幸せか。

抽象度は高くなってもOK

考えるヒント

流域で育まれる「変化」と「つながり」を考える



活動・取組

直接的結果

初期成果

中期成果

長期成果

...

...

...

...

...

.....

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

自ら挑戦する人と
活力のあふれる
経済都市の実現

—
持続的な経済成長
開かれた経済都市
自燃型人材の増加
挑戦の土壌の拡大

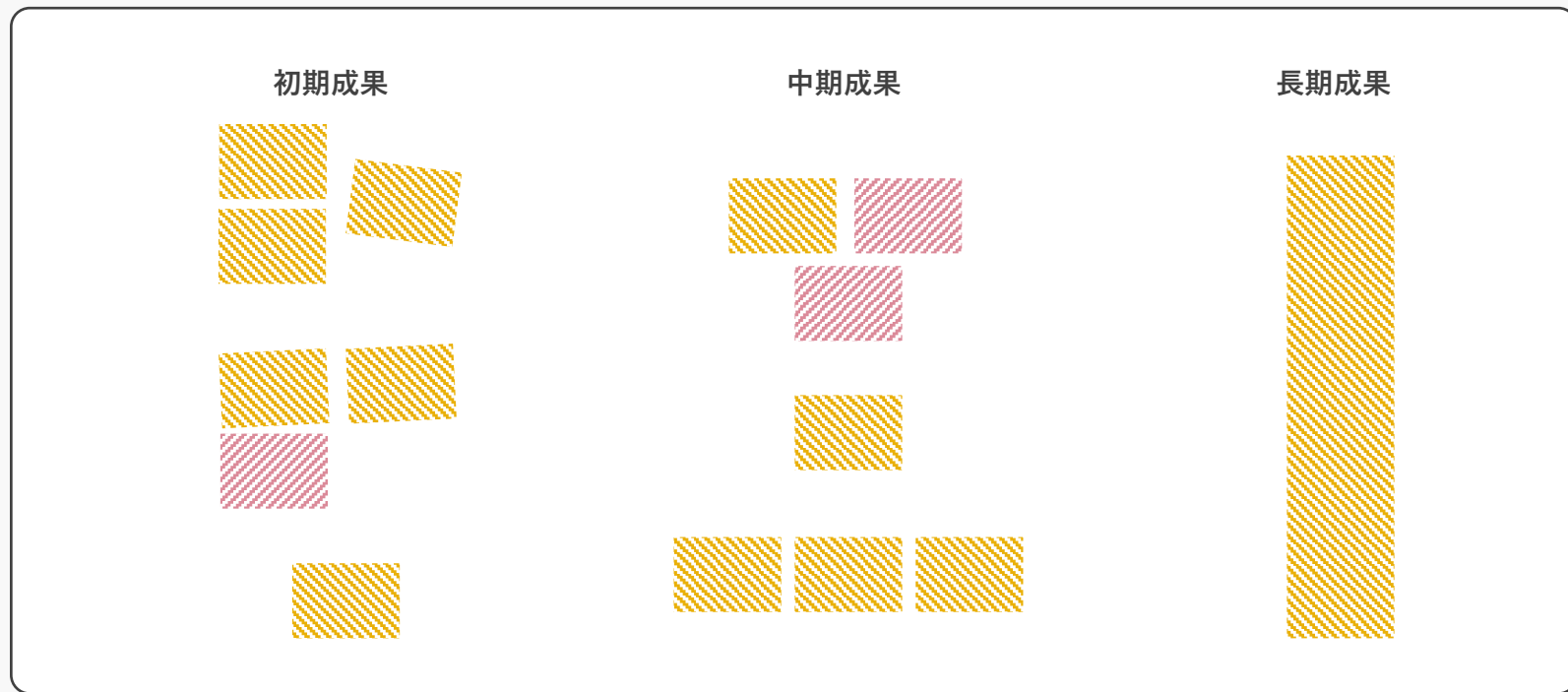
だれが（なにが）

どうなっている

環境やルールなどでもOK

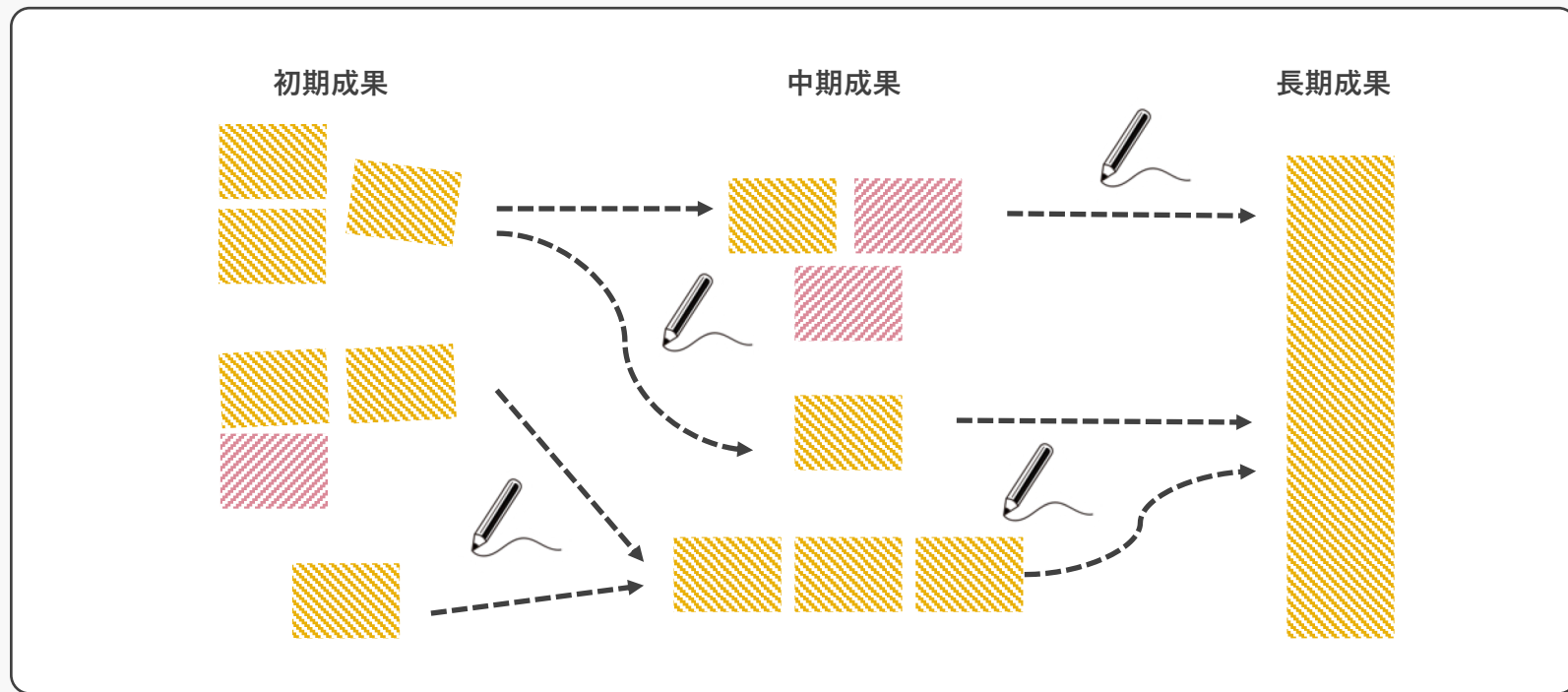
長期成果をうみだすためには、「だれが」
「どうなっている」必要があるだろうか。

似た付箋をグルーピングし「初期・中期・長期」に分ける



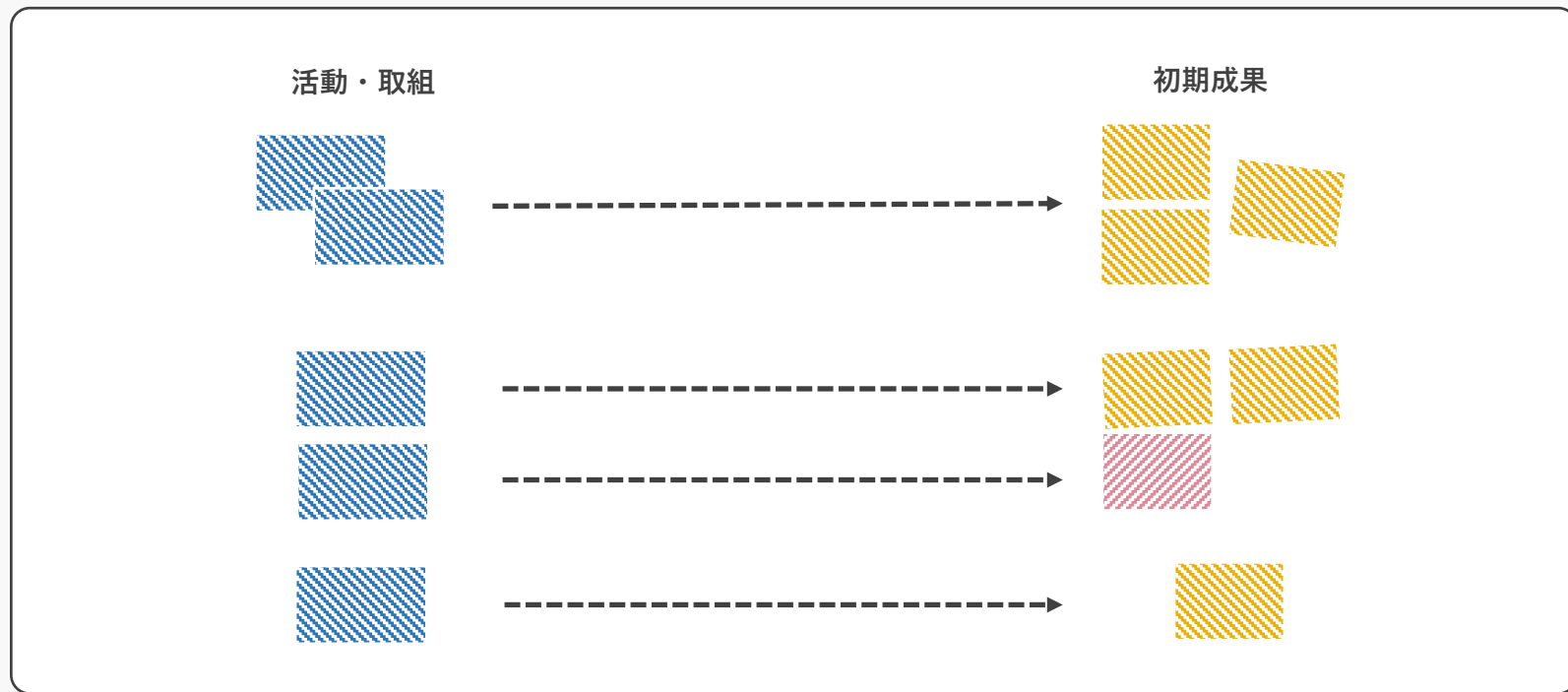
ワークの意図 | 長期成果に辿り着くために狙う必要不可欠な成果を特定する

「初期・中期・長期」のカードのつながりを線で表す



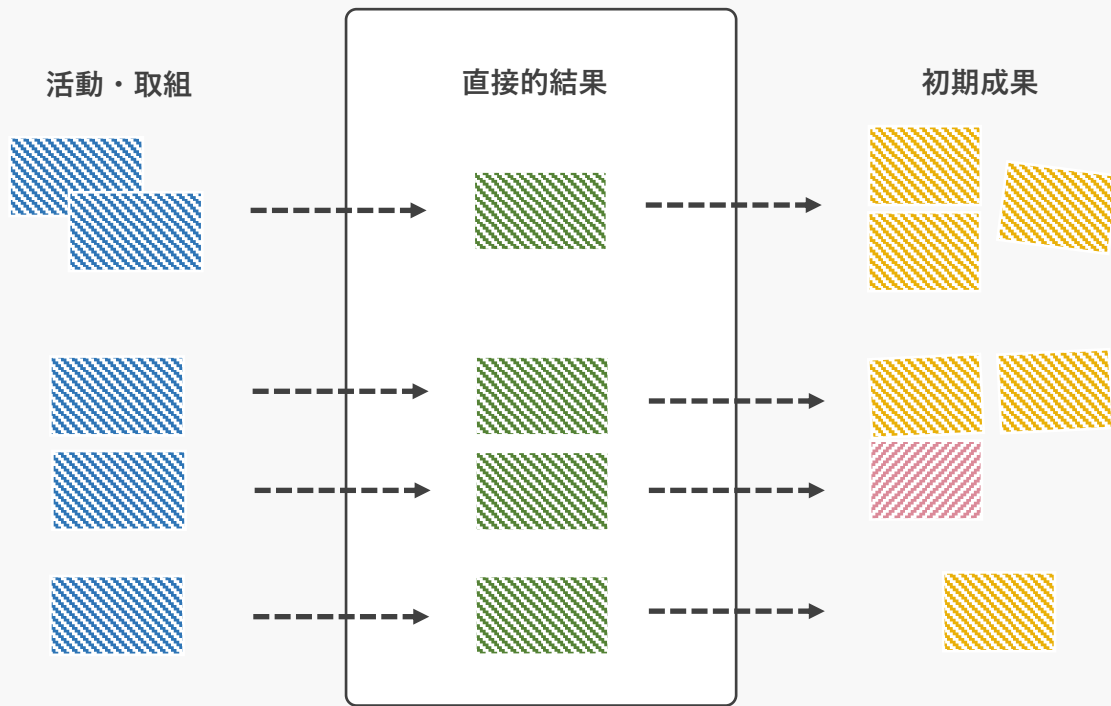
ワークの意図 | 成果と成果の関係性（因果または相関）を考える

「初期成果」をうみだす事業・活動・施策のアイデアを考える



ワークの意図 | 初期成果をうみだす自分たちでコントロール可能なアクションを明確にする

「活動・取組」から生まれる「成果のための必要な結果」を考える



ワークの意図 | アクションの結果が立ち現れてくる社会的インパクトとは言えない結果を可視化する

つながりを意識して「ロジックモデル」を完成させる

アクティビティ/アウトプット

初期アウトカム

中期アウトカム

長期アウトカム

